

令和 5 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 6 0 ） 学校名 豊田市立足助小学校

1 テーマ

「地域に学び、かかわり、発信する子どもの育成」
～「みんな大好き！足助の町」の実践を通して～

2 ねらい

- 自分たちの住む地域の自然や人、もの、歴史、文化に触れ、足助のよさを感じ取らせることで、足助地区に根ざし、伝統や文化、自然などを守り育てていく人材を育てる。
- 地域の中で児童が、見たい、知りたい、やってみたいと思う地域素材をピックアップし、地域の人材を活用して、学んだり、体験したりする機会を設定することで、学びを地域へ発信していく力を育てる。

3 活動内容

○地域の人材や素材から学んだり、かかわったりする活動（6月～2月）

- ・地域の自然を学ぶ： 環境学習（5年 夏～秋）
自然学習（1・2年 12月）
- ・地域の食を学ぶ： 味噌づくり（3年 12月）
五平餅づくり（4年 12月）
- ・地域の伝統行事から学ぶ：たんころりんづくり（6年 7月）
餅花づくり（1・2年 1月）
- ・地域の伝統を受け継ぐ：もみじの植樹（5年 2月）
- ・地域の人材から学ぶ： 足助資料館、重伝建、香嵐溪、栽培、防災

○生活科・総合的な学習の時間と関連づけた学習（6月～1月）

- 1年：こども園との交流・自然学習
- 2年：足助の町探検・自然学習
- 3年：足助の農作物
- 4年：足助の防災・地域食
- 5年：足助の自然環境保護
- 6年：足助の歴史

4 成果と課題

＜テーマに関わる活動について＞

- ・地域講師やボランティアとの関わりや、地域に出かけて学習したことにより、「家の人とまた行ってみたい」「足助の良いところをもっと調べてみたい」など、自分たちの住んでいる地域や人により愛着を感じるようになっている。

- ・地域の自然や歴史について学習することにより、美しい自然をまもることや伝統を引き継いでいくことの大切さについて考えるようになっている。5年生が中心となって香嵐溪のクリーン活動を計画し、全校児童と保護者ボランティアで協力して実施したり、もみじの植樹祭に参加したりすることを通して、香嵐溪の景観を守っていこうという気持ちをもつことができた。
- ・地域講師や環境学習講師としてこれまでご協力いただいていた方も高齢となり、調整が難しくなっているところもあるが、地域コーディネーターの協力も得ながら、これまでの地域講師やボランティアとのつながりを大切にして今後も協力していただけるようにするとともに、新たな人材とのつながりを持てるようにしていきたい。
- ・教員は、毎年入れ替わりがあり、担当する学年も変わるため、引継ぎを確実にして本校の特色を生かした活動が継続していくようにしたい。

＜体力向上補助指導員について＞

- ・体育向上補助指導員を配置し、授業の道具の準備や片付け、ライン引きなどの業務をてつだっていただくことで担当教員の負担が軽減した。また、体力向上補助指導員の助言で基礎的な筋力や運動能力の向上を目的として、授業の最初にコーディネーショントレーニングを導入した。ウォーミングアップや柔軟運動の効果もあり、授業中のケガを減らすことができた。多くの目で児童を見守ることができ、より安全に配慮して授業をすることができた。

＜心の相談員について＞

- ・心に不安を抱える児童が担任以外にも相談することができる機会が増えた。教員とは違った視点、立場で児童を見守り、担任や相談主任等と情報共有しながら相談活動を進めることで、子どもたちの表情や様子など小さな変化も見逃さずに対応することができた。

＜校内整備員について＞

- ・校内整備員を配置し、教頭や校務主任と連携しながら樹木の手入れや設備の整備などを中心に校地内の環境整備を進めることで、より安全で快適な環境を保つことができた。特に春から秋は草刈りや樹木の手入れを毎週行うことができ、きれいな環境を整えることができた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・特色ある学校づくり推進事業に関連した取組について、活動後には学校だよりや学級通信、ホームページへの掲載を積極的に行った。
- ・6年生が足助の歴史について学習し、これからの足助がさらに発展していくためにできることを考えた。自分たちが考えた内容を保護者だけでなく、足助支所地域振興担当の方々に向けても発表した。
- ・5年生が香嵐溪の自然について学び、植樹祭の時に香嵐溪を守っていくための提言を参加者に対して発表した。